

全校朝礼（創立記念）あいさつ要旨

H29. 5. 1（月）

時の過ぎゆくのは早いもので、早くも皐5月を迎えた。それぞれ進級、入学と環境が変わって約1ヶ月、どうだろうか。

人は、目標がないとのおんべんだらりとした生活になってしまうものだ。もしそんな生活になってしまっている人がいたら、それは辛い仕打ちに向かってまっしぐらであることを自覚してほしい。

そういう人には、商業高校にしかない簿記、珠算、ワープロ、情報処理といった部活動への入部を勧めます。じっとしていても何も起こらない。動けば何かが起こる。何かに一歩踏み出すように。

さて、本日は創立記念を兼ねているので。本校の歴史をお話する。2・3年生は、昨年度の創立90周年の様々な機会に本校の歴史を知ったところだが、もう一度思い出してもらいたい。

実は、本当の創立記念日は5月10日である。これは大正15年に玉島町立玉島商業学校が開校式を行ったのが5月10日であったことから、この日が創立記念日となったということだ。

開校当時は、野球場からもう少し南の、丁度セブンイレブンがある辺りに仮の校舎があった。

今のこの場所に新築移転したのが昭和4年である。昭和5年には今も連綿と続く歴史ある弁論大会が始めて開かれている。

現在の野球場は昭和13年に、沼地であったものを生徒全員で整地して使えるようにしたのが最初である。当時は自転車を持っている生徒たちが高梁川の砂を運び入れたということだ。あのグラウンドは先輩たちの汗がしみ込んでいることを覚えておいてもらいたい。ついでに言うと、県立高校としては異例のスタンドがあるのは、昭和37年の国民体育大会の軟式野球の会場になったことで、当時の玉島市が整備したからである。

話しを戦時中に戻す。戦争に巻き込まれ時代には、玉島工業学校となった時代もあったが、終戦後の昭和24年に戦前の女学校であった玉島高等女学校と男子校であった玉島商業学校が一つの学校となり、県立玉島高等学校となり、定時制が併設された。こちらが西校舎、今の玉島高校が東校舎と呼ばれた。昔の方々の思い出話では、机や椅子をかついで10分の休憩時間に移動したこともあったらしい。

そして昭和33年に商業科が独立して県立玉島商業高等学校となった。

その後、昭和45年に併設していた定時制が独立し、倉敷市立玉島高等学校となった。従って、現在の本校と県立玉島高校、市立玉島高校の3校は一人の校長先生の下に一

つの高校だった時代が長かった兄弟校なのである。

部活動の活躍に触れておく。戦前には野球・柔道・駅伝において県大会に優勝している。

戦後は、昭和28年に駅伝で全国6位、昭和39年には和文タイプで全国2位、昭和40年代当初には昭和42・43年と連続で軟式テニス今のソフトテニスが国体2連覇、同じ年の昭和42年にサッカー部がインターハイと国体に出場。そして昭和44年には野球部が夏の甲子園でベスト4まで勝ち上がった。

今から31年前の昭和61年の創立60周年を機に、生徒から募った「誠実・勤勉・礼儀」を校訓に決定した。それまでの「質実剛健」は校風だったが、校訓だと思われていたようだ。

昭和4年に、この場所に新築移転したときから講堂に掲げられていた「質実剛健」の扁額は、今はアクリルのケースに入れて正面玄関に飾ってあるので、是非見て欲しい。

そして制服がブレザー型に変わったのが平成元年である。まだまだネクタイをしめた高校生が少ない時代に先駆けたものであった。

平成時代には、いわゆるバブルがはじけて不況がおとずれ、極度の就職難がやってきたことも影響があっただけ、平成6年に始めて進学者数が就職者数を上回ったようだ。

平成になってからは、簿記部や情報処理部が目覚ましい活躍をした。平成5年から8年の4年連続で日商簿記1級に合格者が出たこともそうだが、この頃は簿記では県内に敵無しだった。

グローバル化の進展と共に、海外修学旅行に出掛ける学校が増えてきた中で、本校は平成11年からシンガポールへの修学旅行を開始したが、2001年のニューヨークにおける同時多発テロのため、2年間だけで終わってしまった。

長々と述べたが、こうして今の玉島商業高校がある。入学式、始業式の式辞で述べたとおり、本校は、自分の意見をしっかりと持ち自分の意思で行動できる人材、グローバルな視野を持って備中地域で社会に貢献する人材を育成することが使命だ。

91年目の玉島商業高校は、結局は建物の集まりではなく、人の集まりである。キラキラ輝く学校であるためには、一人一人の生徒が輝かなければならない。冒頭に述べたが、それぞれが目指すべき頂上を見据えて努力しよう。

身につけて欲しい資質九つを玉商夢手帳に書いてもらっているが、2番目にある「怠けてはいけない」のである。最初に言ったが、のんびんだらりと生活している人は、人工知能に取って代わられて仕事がなくなると心得よ。自分の頭で考え、自分の意思で行動できる人間に育ててくれることを期待している。